

令和7年度（2025年度）

神戸大学大学院

国際文化学研究科博士課程後期課程

学生募集要項

感染症の影響や自然災害等の不測の事態により、募集内容について変更を行う可能性があります。変更を行う場合は、本研究科のウェブサイトに掲載をします。出願を予定されている方は、こまめにウェブサイトをご確認ください。特に、出願の直前及び試験実施日の直前には、必ずご確認をお願いいたします。

神戸大学

目 次

博士課程後期課程

はじめに

1. 募集人員.....	1
2. 出願資格.....	1
3. 出願期間.....	2
4. 出願方法.....	2
5. 入試方法.....	4
6. 試験期日及び試験場.....	5
7. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の事前相談.....	5
8. 合格者発表.....	5
9. 入学手続.....	5
10. 個人情報の取扱いについて.....	6
11. 注意事項.....	6
12. 令和7年度の入試配点.....	6
13. 参考.....	7
(1) 志願者数等の状況.....	7
(2) 過去の試験問題の閲覧・複写について.....	7
麻しん（はしか）, 風しんの感染予防措置.....	8

担当教員一覧

はじめに

国際文化学研究科が求める学生像

国際文化学研究科では、深い異文化理解能力と自在なコミュニケーション能力を有し、豊かな学識と創造的な研究能力を備えた人材を養成することを目指しています。

上記の教育研究上の目標をふまえ、本研究科が求めるのは次のような学生です。

前期課程

- ・文化の多様性をふまえ、異文化間の関係性を多角的に探究することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]
- ・言語情報コミュニケーションの動態を深く理解し、現代のグローバル社会の諸課題に取り組むことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]
- ・高い専門性の上立った学際的研究を行うことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]

後期課程

- ・文化の多様性と相互作用の動態を究明し、文化研究の先端的な領域を主体的に開拓することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]
- ・言語情報コミュニケーションの諸問題を探求し、グローバル化する現代世界を多角的に研究することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]
- ・高度な専門性の上立った領域横断的な研究を行うことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]

以上のような学生像にもとづいて、本研究科の入学試験は実施されます。

1. 募集人員

専攻	領域	コース	募集人員
文化関連	地域文化系	日本学 アジア・太平洋文化論 ヨーロッパ・アメリカ文化論	6人
	異文化コミュニケーション系	文化人類学 越境文化論 国際関係・比較政治論	
グローバル文化	現代文化システム系	モダニティ論 先端社会論 芸術文化論	9人
	言語情報コミュニケーション系	言語コミュニケーション 感性コミュニケーション 情報コミュニケーション	
	外国語教育系	外国語教育システム論 外国語教育コンテンツ論	
	連携講座	先端コミュニケーション論	

2. 出願資格

① 一般入試

次の枠内(1)～(7)のいずれかに該当する者

② 外国籍学生特別入試

「留学」の在留資格を取得して日本に入国した者又は入国しようとする者（ただし、入学時までに「留学」の在留資格を取得見込みの者も含む。）で、高等学校に相当する期間の全課程を外国において修了し、かつ 次の枠内(1)～(7)のいずれかに該当する者

なお、「永住者」「日本人の配偶者等」「定住者」等の在留資格を取得している者であっても、高等学校に相当する期間の全課程を外国において修了し、かつ以下の(1)～(7)のいずれかに該当する者については、出願を認めることがある。

- (1) 我が国において、修士の学位若しくは専門職学位（学校教育法第104条第3項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を授与された者又は令和7年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（第74条において「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

- (6) 文部科学大臣の指定した者（大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者）
- (7) 本研究科において、個別の出願資格事前審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに24歳に達する者

(注意) 出願資格事前審査について

申請期間：令和6年12月16日(月)から12月19日(木)まで

- ・上記出願資格(6)若しくは(7)、により出願しようとする者は、出願に先立って本研究科の出願資格事前審査を受けなければなりません。出願資格(1)~(5)のいずれかに該当する場合、出願資格事前審査は不要です。
- ・事前審査を受けようとする者は、次の書類等を申請期間に必着するように郵送（書留速達郵便）してください。
 - ① 出願資格事前調査書（本研究科所定用紙、自書してください。）
 - ② 最終学校長が作成した成績証明書・卒業証明書（修了証明書）
 - ③ 研究歴証明書（出願資格(6)のみ、本研究科所定用紙、所属機関の長等が証明したもの）
 - ④ 研究歴又は実務経験に関する報告書 1部
 - ⑤ 学術論文、公刊著書等及び論文要旨 各3部（3点まで、コピー可）
(論文要旨は日本語(2,000字程度)又は英語(1,000語程度))
 - ⑥ 本研究科における研究計画書 4部（本研究科所定用紙、コピー可）
 - ⑦ 審査結果通知用封筒（定形封筒に速達郵便用切手を貼付したもの。切手の金額は研究科HPを確認してください。）
- ・審査の結果は、令和6年12月27日(金)までに本人あて通知します。審査の結果を通知するまで願書の送付及び検定料は払込まないでください。
- ・審査のために提出された書類等は返却しません。

送付先

神戸大学大学院国際文化学研究科教務学生係
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1丁目2-1

封筒の表に「**神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程事前審査書類在中**」と朱書してください。

3. 出願期間

令和7年1月6日(月)から1月10日(金) 午後5時までに必着するように郵送してください。直接持参によるものは一切受け付けません。

また、必ず**書留速達郵便**にしてください。なお、受験票は、1月下旬に送付します。

送付先

神戸大学大学院国際文化学研究科教務学生係
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1丁目2-1

封筒の表に「**神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程〇〇専攻入学（進学）願書在中**」と朱書してください。

4. 出願方法

志願者は、次の提出書類等を取りそろえ郵送してください。提出書類は、返却しません。提出する書類は「コピー可」以外はすべて原本としてください。

なお、出願資格事前審査を願い出て許可になった者は、次の(2)、(5)、(6)の書類は提出しなくてもかまいません。

	提出書類等	摘 要
(1)	入学（進学）願書 及び履歴書	（本研究科所定の用紙）
(2)	成績証明書及び 修了（見込）証明書	<p>出願資格を証明する大学院が発行したもの。 ただし、大学院を修了していない者、外国の大学を卒業した者については、最終出身学校が発行した成績証明書・修了証明書等。</p> <p>注1) 外国の大学院を修了した者で、当該証明書が日本語又は英語以外の言語によるものである場合、日本語への翻訳(A4)を添付すること。また、その翻訳に以下のことを明記すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「翻訳の内容は、原本と相違ないことを証明する。」 2. 翻訳者氏名(修了した大学院発行のものでない場合は志願者とする) 3. 翻訳者の捺印又は署名 <p>注2) 証明書に記載された氏名が修了等の後、婚姻等により変更された場合は、それを証する公的機関の発行した証明書等を添付してください。その書類は確認後返却します。</p> <p>注3) 中国の大学院で修士の学位を取得した者は、以下の書類をあわせて提出してください。</p> <p>【修了済である者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate (英文) ・ Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate (英文) <p>【在学中で修了見込の者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Online Verification Report of Student Record (英文) <p>いずれの書類も中国高等教育学生信息网（CHSI）の認証手続きを必要とします。中国高等教育学生信息网（CHSI）のウェブサイト https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp に登録し、該当書類を PDF ファイルで入手後、A4 用紙に印刷してください。出願時点で Web 認証の有効期限が 1 か月以上残っていることが必要です。有効期限切れである等の理由により、本研究科が Web 認証を行えない場合は出願書類不備とみなします。</p>
(3)	受験票	（本研究科所定の用紙）
(4)	整理票	（本研究科所定の用紙）
(5)	写真	3枚（上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm） 出願前3か月以内に撮影したものを、入学（進学）願書、受験票及び整理票の所定の欄に貼付してください。
(6)	論文	<p>A. 修士論文を提出して修士の学位を得た者（修士の学位を取得見込みの者を含む。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文 3部（コピー可） ・ 修士論文の要旨 4部 （日本語(2,000字程度)又は英語(1,000語程度)、コピー可、A4判片面印刷、以下のURLからダウンロードした表紙を必ず添付すること。 http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g) ・ 公刊学術論文がある場合は、2点まで併せて提出できます。 各3部（コピー可） <p>修士の学位を取得見込みの者については、修士論文として提出予定の論文をもって修士論文とみなします。</p> <p>B. 修士論文の審査によらずに修士の学位を得た者（取得見込みの者を含む。）又は修士の学位を有しない者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文に相当する学術論文等（3点まで） 各3部（コピー可） ・ 論文の要旨 各4部 （日本語(2,000字程度)又は英語(1,000語程度)、コピー可、A4判片面印刷、以下のURLからダウンロードした表紙を必ず添付すること。 http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g) <p>注意 論文の言語が日本語、英語以外の場合、追加で和訳又は英訳の提出を求める場合があります。</p>

(7)	本研究科における研究計画書	4部（本研究科所定の形式、コピー可） 本研究科のホームページからダウンロードした研究計画書を使用して、A4判片面印刷で4枚分を使用して作成してください。 研究計画書は、以下のURLからダウンロードできます。 http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g
(8)	検定料 (30,000円)	検定料納入に際して発生する手数料は受験者負担となります。別途郵便局専用払込用紙（検定料用）を使用して郵便局（ATM不可）で払込み、振替払込受付証明書（郵便局の受付局日附印が必要）を入学願書表面の所定の欄に貼付してください。 ただし、出願時に国費外国人留学生である者のうち、令和7年4月1日以降において、引き続き、「国費外国人留学生奨学金の支給期間満了に伴う延長申請手続きが可能な資格を有する者」については、検定料は不要です。 日本国外からの支払いを希望する場合は、「国際文化学研究科博士課程後期課程入学試験検定料のお支払いについて」を参照し、検定料を支払いのうえ、支払い完了の受信メールを印刷し、入学願書に貼り付けせずに提出してください。（決済完了画面を印刷したものは支払完了日等が確認できない恐れがあるため提出書類として認めません。）
(9)	住所票	1枚（本研究科所定の用紙）
(10)	返信用封筒	定形封筒（長形3号縦約23cm×横12cm）に住所、氏名、郵便番号を記入し、 <u>速達郵便料金の郵便切手</u> を貼付してください。 受験票送付（速達郵便）に使用します。 ※日本国外在住者は不要です。（受験票送付方法は別途通知します。） ※速達郵便の切手の金額は、国際文化学研究科のホームページ（受験生用情報→大学院後期課程募集）に掲載していますので、ご確認ください。

（注）進学希望者については、別途配布する「進学者選考要項」を参照してください。

以下については、該当者のみ提出してください。

	提出書類等	摘 要
(11)	住民票の写し	※国内在住の外国籍の者のみ 提出日前30日以内に作成されたものに限り、国籍・地域、在留資格・期間に係る記載事項が省略されていないものを提出してください。 出願時に国外に居住している者は、入学時に提出してください。
(12)	国費外国人留学生証明書	※国費外国人留学生のみ 在学する大学院発行の国費外国人留学生である旨の証明書。
(13)	国費外国人留学生延長申請資格証明書	※国費外国人留学生のみ 在学する大学院発行の「国費外国人留学生奨学金の支給期間満了に伴う延長申請手続きが可能な資格を有する者」である旨の証明書。

5. 入試方法

(1) 口述試験

提出された論文及び研究計画書等について行います。

(2) 提出された論文についての審査

6. 試験期日及び試験場

(1) 試験期日

試験期日	区分	試験時間
令和7年2月8日(土)	口述試験	実施時間及び会場については、受験票送付時に通知します。

(2) 試験場

神戸大学大学院国際文化学研究科学舎

神戸市灘区鶴甲1丁目2-1 (市バス16系統 又は106系統「神大国際文化学研究科前」下車)

7. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の事前相談

申請期日：令和6年12月19日(木)まで

障がいのある者等のうち、受験上特別な配慮及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、原則として申請期日までに神戸大学大学院国際文化学研究科教務学生係に申し出て相談してください。

8. 合格者発表

令和7年2月26日(水) 午前10時(予定)

神戸大学大学院国際文化学研究科ホームページに掲載

当日、合格者のみ郵便で発送し通知します。

なお、電話等による照会には一切応じません。

9. 入学手続

(1) 入学手続及び方法

入学手続関係書類は、合格者発表後に送付します。入学手続日、提出書類、入学手続方法等の詳細については、入学関係書類送付の際にお知らせします。

受験票、入学関係書類の提出及び次の納付金を納入してください。

(2) 納付金

区分	金額	摘要
入学料	282,000円	1. 納付金額は令和6年度のものです。 2. 令和7年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。 3. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還できません。
授業料	前期分 267,900円 年 額 535,800円	

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

(参考) 入学料免除、入学料徴収猶予及び授業料免除について

令和7年度の入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除等の内容、申請方法等の詳細については、決まり次第、神戸大学ホームページ「学生生活・学生支援」→「経済支援」→「授業料(入学料)の免除及び入学料の徴収猶予について」に掲載します。

(URL : <https://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/finaid/index.html>)

掲載内容について、不明な点等がある場合は、次の問い合わせ先に照会してください。

入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問い合わせ先
神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ（免除担当）
TEL:078-803-5431 メール:stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp

10. 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。
- (2) 入試に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選考（出願処理，入学試験），合格者発表，入学手続業務，今後の入試方法及び大学教育改善のための調査・研究のために利用します。なお，調査・研究及び結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。
- (3) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報は，入学者についてのみ，入学後の学生支援関係（健康管理，授業料免除及び奨学金申請），教務関係（学籍，修学指導）などの教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を本学より委託を受けた業者（以下「委託業者」という。）において行うことがあります。この場合，業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが，守秘義務を遵守するように指導します。

11. 注意事項

- (1) 出願前に自己の研究テーマによる受入れと研究指導の可否について，指導を希望する教員と必ず相談したうえで出願してください。
- (2) 出願手続後は，出願書類の記載事項の変更は認めません。
- (3) 一度受理した出願書類の返却及び検定料の返還は認めません。
- (4) 記載事項に虚偽の記入をした場合は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 在留資格により日本に滞在して入学する場合，入学日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
※在留資格「留学」と異なる場合は，日本の法律上外国人留学生として扱われません。このため外国人留学生を対象とした各種奨学金，医療費補助等の諸制度・サービスへの申請が難しい場合がありますので注意してください。
- (6) 出願書類が到着したかどうかのお問合せについては，回答できません。

12. 令和7年度の入試配点

区 分	一 般 入 試・外国籍学生特別入試
(1) 口述試験	200点
(2) 提出論文	300点
合 計	500点

13. 参考

(1) 志願者数等の状況

令和6年度の神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程の志願者数等の状況は次のとおりです。

専攻	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
文化関連	6	5(◎4 ※0)	4(◎3 ※0)	4(◎3 ※0)
グローバル文化	9	10(◎3 ※0)	9(◎3 ※0)	9(◎3 ※0)
合計	15	15(◎7 ※0)	13(◎6 ※0)	13(◎6 ※0)

(備考) ()内の◎印は外国籍学生特別入試該当者，※印は特別推薦入試該当者の数を内数で示します。

(2) 過去の試験問題の閲覧・複写について

- ・学外の希望者
本研究科教務学生係で閲覧及び複写することが可能です。
- ・本学の学生
神戸大学 総合・国際文化学図書館で閲覧及び複写することが可能です。

なお、下記のホームページ上でも著作権に配慮したものを掲載しています。

<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g>

《 麻しん（はしか）・風しんの感染予防措置 》

麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では「麻しん風しん登録制度」を定め、入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため、全ての新生に次の①、②、③のいずれかを提出していただいています。

- ① 麻しん・風しんのワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類（推奨）
- ② 過去5年以内（令和2（2020）年4月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類
- ③ 過去5年以内（令和2（2020）年4月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が、「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次頁の表を参照）を有していること」を証明する書類

- * ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
- * ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。
- * 母子手帳等のワクチン接種記録や接種済証も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。
- * 既往歴（かかったこと）がある場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。
- * ③では、次頁の表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①か②を提出してください。
- * ①、②、③の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては③を提出してもかまいません。
- * 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
- * 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：4月入学者は新生健康診断実施日、10月入学者は10月入学者健康診断実施日

提出先：健康診断会場内 麻しん風しん登録受付

麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

区 分	測定方法	判定基準	備 考
麻しん	IgG-EIA 法	8.0 以上の陽性	3 つの測定方法のうち、いずれかで陽性
	PA 法	256 倍以上の陽性	
	NT 法	4 倍以上の陽性	
風しん	HI 法	32 倍以上の陽性	2 つの測定方法のうち、いずれかで陽性 (HI 法を推奨)
	IgG-EIA 法	8.0 以上の陽性	

- * ワクチン接種歴が条件を満たす場合や追加接種する場合は、抗体検査は不要です。
- * 血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。
- * 発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、単に**抗体陽性とされる値よりは高い値**なので注意してください。
- * 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学 保健管理センター TEL 078-803-5245

神戸大学 学務部学生支援課 TEL 078-803-5219